

海況速報

平成10年度 第6号 (通算 No.66)
平成11年 3月26日
北海道立水産試験場

内容についての問い合わせは

中央水試海洋部 0135-23-4020

2月上旬～3月上旬の海況

【日本海海域】

本道西岸沖を北上する対馬暖流は、沿岸に沿って流れる状態に戻っています。北緯42度30分線上を北上する対馬暖流の流量は、この時期のほぼ平均値となっています。

津軽海峡西口に接するように暖水渦（200m層水温8℃以上）があり、そのために、ここでは対馬暖流の幅が西側に広がっており、本道西岸沖を北上する流れのほかに、暖水渦の西側から北側を回って、北西方向から津軽海峡に流れ込む流れができています。

水温について見ると、北緯45度30分線では、累年平均(*1)に比べ、礼文島北西定点（東経140度53分）では200m層で-0.8℃、100m層以浅で-1.0～-0.9℃、東経141度10分以東では、100m層と50m層で-0.9～-0.7℃、表面では礼文島北西定点上で-3.8℃（水温0.3℃で塩分の低い水があります）となっています。北緯44度30分線では、累年平均に比べ、東経140度20分の200m層で-0.1℃、100m以浅では-1.0～-0.7℃の範囲にあり、東経141度15分以東の天売・焼尻島北側では、100m層で-0.1℃、50m層で-1.4～-1.2℃、表面で-0.8℃となっています。北緯43度30分線では、累年平均に比べ、石狩湾湾口部（東経141度00分）の50m層で-0.7℃、表面で-0.5℃、積丹岬北西沖定点（東経140度20分）では、小さな暖水渦らしきものがあり、200m層で+1.6℃、100m層で-0.3℃、50m層と表面で-0.6℃となっています。瀬棚沖の最も岸寄りの定点（北緯42度30分、東経139度40分）では、累年平均に比べ、200m層で+0.5℃、100m層で-0.4℃、50m層で-1.4℃、表面で-0.9℃となっています。松前西方で最も岸寄りの定点（北緯41度20分、東経140度00分）では、累年平均に比べ、200m層で-0.8℃、100m層で-1.0℃、50m層で-0.9℃、表面で-1.2℃となっています。

余市における1月中旬以降3月中旬までの沿岸水温（旬平均）は、平年値に比べ、-0.6～+0.1℃の間、「やや低い」から「平年並み」の状態に移っています。

【道東太平洋海域】

前回（12月）、北緯41度以北の海域にあった暖水塊は観測海域よりも東方に移動しました。50m層を見ると、根室半島から襟裳岬沖まで水温1℃以下の沿岸親潮(*2)が道東沿岸に沿って流れています。表面水温0℃以下の部分が厚岸南方では北緯42度20分以南にまで幅を広げています。沿岸親潮の沖側には、東経143度30分以東に表面水温で5℃台の暖水帯があります。

水温について見ると、道東沿岸の50m層で最も岸寄りとなる定点の水温は、厚岸沖（北緯42度55分、東経145度00分）で-1.0℃、白糠沖（北緯42度45分、東経144度00分）で-0.8℃となっています。

【道南太平洋海域】

深度100m以浅に水温3℃以下の親潮系の水が北海道沿岸に例年通り流れてきています。しかし、浦河沿岸部では、100m以浅に水温6℃以上の津軽暖流系の水も同時に流れ込んできています。そのため、浦河沿岸の近くでは高水温状態のところがあります。

水温について見ると、浦河南西方観測線では、累年平均に比べ、浦河沿岸の定点（北緯42度10分）の100m層で+5.7℃、50m層で+3.5℃、表面で+0.3℃となっています。白老南方観測線では、累年平均に比べ、白老沿岸の定点（北緯42度20分）の200m層で-0.1℃、100m層で-0.3℃、50m層で-0.4℃、表面で+0.1℃となっています。恵山岬東側定点（北緯41度50分）では、累年平均に比べ、200m層で+0.1℃、100m層で-0.3℃、50m層で-0.1℃、表面で+0.8℃となっています。下北半島北側定点（北緯41度30分）では、累年平均に比べ、200m層で-0.9℃、100m層で-0.1℃、50m層で0.0℃、表面で+0.7℃となっています。

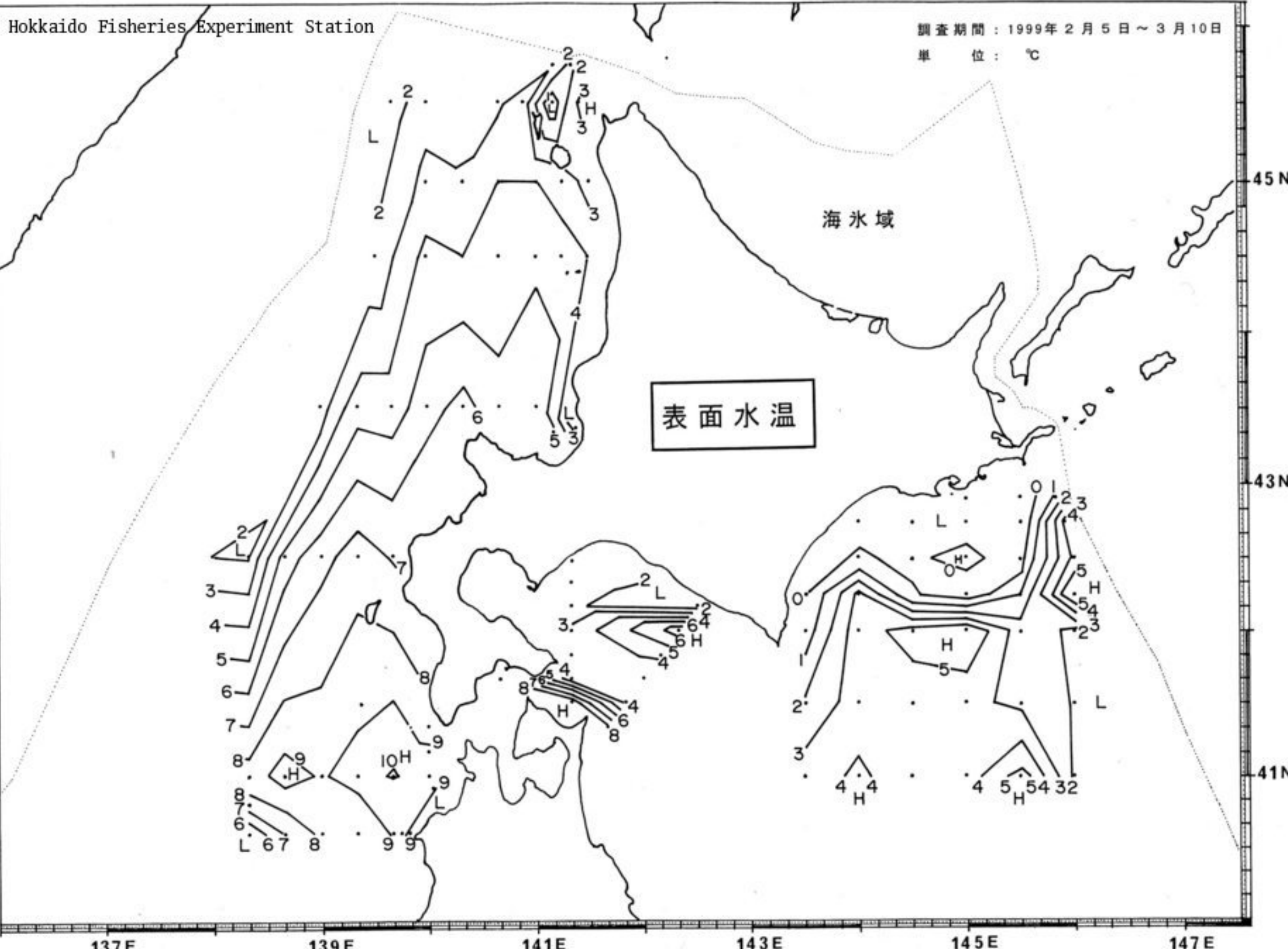
【オホーツク海海域】

海氷期のため観測がありません。

		資 料	〔観測期間〕
青森水試	（東奥丸）	平成11年2月9日～同2月9日	（東北日本海海域）
		平成11年2月15日～同2月16日	（東北日本海海域）
稚内水試	（北洋丸）	平成11年2月22日～同2月24日	（道北日本海海域）
釧路水試	（北辰丸）	平成11年2月15日～同2月18日	（道東太平洋海域）
		平成11年3月1日～同3月1日	（道東太平洋海域）
函館水試	（金星丸）	平成11年2月15日～同2月17日	（道南太平洋海域）
中央水試	（おやしお丸）	平成11年2月5日～同2月5日	（道西日本海海域）
		平成11年2月16日～同2月17日	（道西日本海海域）
		平成11年3月8日～同3月10日	（道西日本海海域）

*1: 平成元(1989)年～平成10(1998)年までの平均値を使用しました。

*2: オホーツク海の海氷の融氷水を含む親潮として特に沿岸親潮という名前が付けられています。



表面水温

海水域

137E

139E

141E

143E

145E

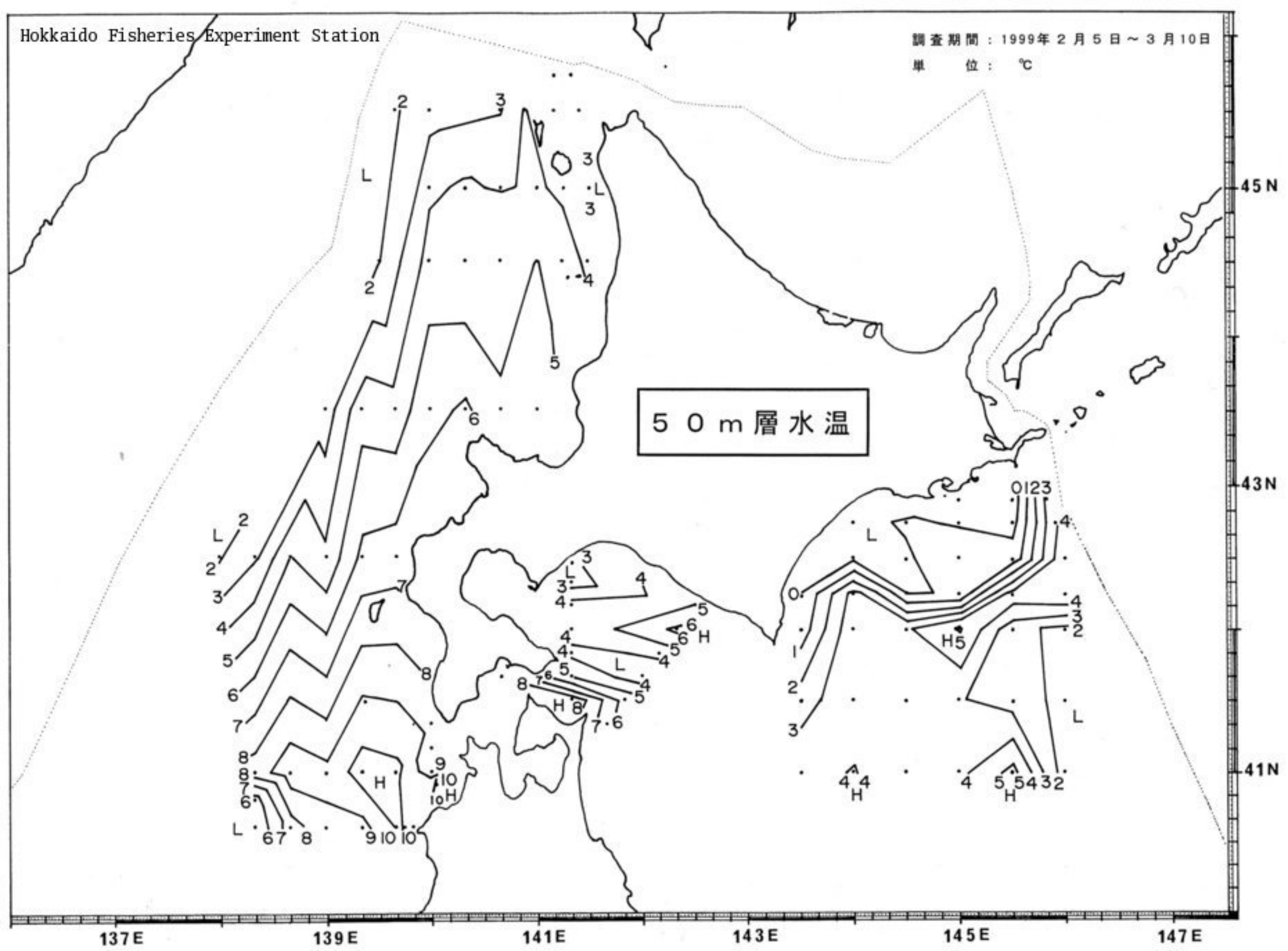
147E

45N

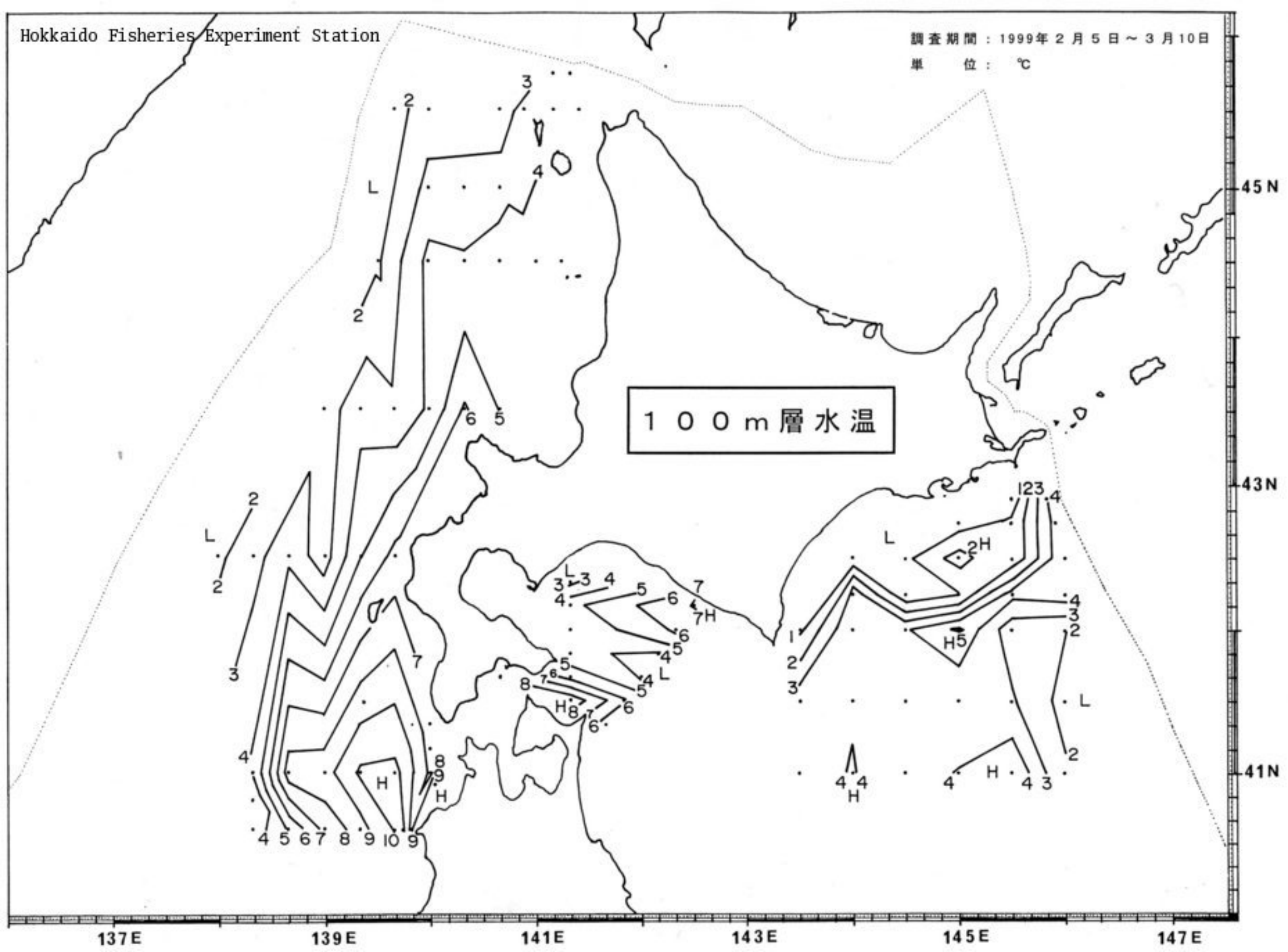
43N

41N

50m層水温



100m層水温



200m層水温

